

總裁中心主義をもつ

曖會乘切の決意問

首相登院に絡る策動流説を警戒

周遺算なきを期す

會議問題に就き詳細に報告し會談

一時間五十分にして辭去した

東京八日發」忠清南道殿移戦問

題は貴族院で復活説濃厚さなった

一十日中に總會の態度が決せられる に同日午後の襲撃總會に附議し に同日午後の襲撃總會に附議し に同日午後の襲撃總會に附議し

見玉總監自邸で

語る

呈后陛

まに御授乳

皇太后陛下新 宮標に御對顔

ごお眠りの御妹宮に

州内水産界の 諸問題に就て 說

東北の方策を贈む。 め充分なる恢復を め充分なるを後復を が終了せ

はる身體に用いた。

充分だ

|東京八日後||皇太后陛下には新||東京八日後||皇太后陛下には新|

御命名式の當日

幣原首相代理談 東京八日餐】幣原能標低地は演 日首相は登院後令期中議會に 諸田首相は登院後令期中議會に

『東京八日愛』濱口首相は九日宮一 けふ首相が 聲明書發表

東京八日登 | 機内較事長は八日 での連絡に動き打合せた での連絡に動き打合せた。 での連絡に動き打合せた。 での連絡に動き打合せた。 での連絡に動き打合せた。 での連絡に動き打合せた。 での連絡に動き打合せた。 での連絡に動き打合せた。 での連絡に動き打合せた。 首相ど協議

證左ご見らる

朝鮮統治の將來に禍根を殘す や聲明

派の態度決定 豫算ご貴院各 和協定に就き記者概に左の如く勝運動首領がンジー氏は七日英中で

民政總務會で意見一

があるまいご概されてあるで一戦を試みるドタン場まで行く

心であるに反し、大田は二十餘南道の中央に在り交通經濟の中央に在り交通經濟の中央に在り交通經濟の中央に在り交通經濟の中央に在り交通經濟の中、

で七日中に可決を見たものは第二 を休舎も一方名派の態度決定は公 も休舎も一方名派の態度決定は公 を休舎も一方名派の態度決定は公 で七日中に可決を見たものは第二 『東京八日餐』貴族院の各分科會

つた 外國綿布に對するボイコットは 財産國民の当然の義務で節じて 最和し得ない、印度は自ら印度 の他の物資を生産すべきである

けふの兩院

鄒尙友氏 東支理事後任

理事恋其光氏幹低と郵酬な さして就低、氏は響天突波響通騰 る、反際派光峰でも近氏の幹低は る、反際派光峰でも近氏の幹低は る、反際派光峰でも近氏の幹低は を非職の謎歩と降さる人である。 での静低は 意味するものだみられてゐる ◆寺島由松氏(緑鰻士) 八日午前 十一時入港のうらる丸にて解連 き田研太郎氏(緑鰻士) 同上來 道 ▲吉田研太郎氏(緑鰻士) 同上來 ▲井上禧之助氏C工大學長ン 同上 島昇氏(大倉土木社員) 同上

常用を御奬め致します。 成人士に向って切に本動の一年男女學生のみならず一

痳痺性一時押への 頭痛薬を廢せ!

特に御注意を申上げます。
特に御注意を申上げます。

選生所作用致験、陰委、遺精、悪精等 では、 ヒポコンデリー、 悪態力域 不限症、 ヒポコンデリー、 悪態力域 不能症、 ヒポコンデリー、 悪態力域 不能が、 神神致験、 ヒステリー、 際交血

藥價 東京市銀座西二丁目二番地 五圓、(徳用)十圓 試用五十월 弘濟薬院 中南定太郎 京橋 三〇八番

たり、内臓心能低寒等でぬめ立てんさするやうな事になられるも、飲部も安堵の色を溶べてゐる、然し繋びの起くさころ政友會は追

首相、宮中に参内 拜謁を賜り御禮を言上 幣原首相代理の解任を奏請す

チエ國兵を御閲兵

解戦 高松宮 同地

日下フラン

マドン條約の定むる臓によれ、リッドン條約の定むるが、カシントン並にの事になるが、カシントン並にの事になるが、カシントン並にの事になるが、カシントンがにが、からのでは、からのでは、からのでは、からのでは、

幣原首相代理

首相と會談 1年上五分戦限、 時間五十分に亘る

税代理解任券請をなす事を誤解を



四脚の椅子が此べられてゐる、首相用のものは籐の低いない。
「本理」を表示されてゐる。
「本理」を表示されてる。
「本理」を表示されてる。
「本理」を表示されてる。
「本理」を表示されてる。
「本理」を表示されてる。
「本理」を表示されてる。
「本理」 日發」鹽田博士、真鍋 こうに出来である。 されがらにしては電話 を二葉の洋鉱・ できるには、 できるとは、 できるには、 できるとは、 できるとなるとなる。 できるとなるとなる。 できるとなる。 できる。 一番であれた では七日窓早く は七日窓早く が一重、能極 据えられ外に 山いクツシー

華府、倫敦條約の

蘆島吸收策

北滿大豆の葫

を引受ける意見書か驚局に提出し による北滿大豆の胡蘆島吸收策さ して狭南、ペルピン職盤道敷整計 を引受ける意見書か驚局に提出し 般金五百圓な下附さるゝこさゝな大連械社遊繁につき宮内書では今 大連神社造営

修正問題惹起か

果然、佛伊協定の結果

根小和 東支領道教器さ共に で身配りの根談中さ

大きな五百園な下附さる×こさ×なートの支那市場造出な意味するさったさ

「はさった。
「はさった。
「はさった。
「はなった。
「はないった。
「はなった。
「はなった。
「はないった。
「はないった。
「はないった。
「はないった。
「はないった。
「はないった。
「はないった。
「はないった。
「はな

神經衰弱療法、精神療法の二點均田腎學博士、森賢學士共著

首 柔 貴院に於る減税案

『東京八日登』貴族院公正會提唱 一、二日ごろ陳京家の本會職上 一、二日ごろ陳京家の本會職上 一、二日ごろ陳京家の本會職上 一、二日ごろ陳京家の本會職上 一、二日ごろ陳京家の本會職上

試驗

地獄

大藏證券

政府頭痛

東北陸軍が電信通

將來を托すべき青年の

心を蝕む惡魔を征服せよ

國家の重大問題

神經衰弱

案の説明書

北洋漁區擁護決議

をして職機能に行ってあると これできてあると 日常棚の職會に就き主治醫が この郷職器は海口前職に依らされ 一重大化 の関れあるので 重大化 の関れあるので 題こそは内閣の整軍で奥索統制のば全く解決は困難で見られ、職官

發行に決定す

漢口首相遺跡後始めての腕試しで 力を問はる。重大問題であり且つ ある際である 一、同日期限の大蔵省證券へ本誌)大蔵書談祭(ラ號)四千萬國の入村養行をなすに決定左の要離を九村養行をなすに決定左の要離を九村養行をなすに決定左の要離を九村養行をなすに決定左の要離を九村養行をなすに決定左の要離を九村養行をなる。

中及び大宮御所に

する響である 製して興民の同骸に数する臓念を メする響である

櫻內幹事長

國庫金窮乏の

情警職務は本年度末まで働選する が最も可能性ありさ見られてゐる 東國中、一般會計分八千五百萬圖 等があるが、大體二、三は重大な 事國中、一般會計分八千五百萬圖 等があるが、大體二、三は重大な 事と、「東京八日餐」政府は三月十七日 佐り一時を糊塗し六年度中に後 事と、「東京八日餐」政府は三月十七日 佐り一時を糊塗し六年度中に後

英印協定の承認なくば

國民運動を繼續 ガンジー氏記者團に語る 南部地方に激震 ユーゴースラビヤ

奇蹟的薬効ある

現健ならしめる爲には それを緩和し腦力體力を

られぬ青年男女の神経衰弱し

密閉門倒れて

らる地で酵來したが語る

一時入港のう

二月中旬卒業牛賣込みのため内地

五名死傷す

代々

木上空で

のは面白くないさあつてのは面白くないさあつてのは面白くないさかの脈を描げない。

が三月十日

初面抽錢十二日

壯烈な空中

陸軍記念日の前奏曲

粉調頭含多

男好改一年

記念日の前奏一空本部主催で代々木織兵場に撃行

としたら、うれらいじゃありまなが一般度は、 を悟って今わが同で國民襲つて を悟って今わが同で國民襲つて を悟って今わが同で國民襲つて

から谷戸一齊に日の丸の版をへ

第八回

天氣豫報

空中ページエント

きの

参

無

順

炭

張

東

郷

本

坑

で

出炭には差支へない

日

になり様子夫人同粋八日入後の今回常の組合本部に就職するこ

め多数野球関係者の出述へを受け を連らたが語る 「昭和三年の春立数のメムバーさ して東連らたこさがあります、 二神さんた初め澤山先輩がいち つらやるので何さか

らる城で大門勝、二神武氏を端一田田を見て頂く考へですになり倭子夫人同館八日入港の一つもやるので何さか

一興味が

へられ國際運輸に就職することに「三麟手も岩瀬主將の出理へを受け」 島選手 るいはは同概にて管業を選手さして理 なつた厳陵中學新卒業生たる北島 着連した [富具は野

一級學校卒業生ゆえに

備ひ手さらにな

松上平波土村金闕富古小田今尾中岡土田邊井田川田澤瀬砂中村田川

賈込運動に出掛けた旅順工大の

井上學長悄けて歸る

東京の領当

科位がごうや

記述 紡鐘•株大•株東 (月毎間年卅往戦) (美嶋相飯最高最)

第十六驅逐隊歸旅

「然は八日午後一時三十分旅艇へ歸

「然した

眞剣を缺く

野球選手の練習

滿倶に遣入る野田元立教監督

質業人の北島選手と共に着連

八重ちゃ

h

と主人は

夢が成長したのだ。 の名義で繁架を續げてあた、懲融の登

歌とる敵惑な人の世の姿が見出されるであらう た、以下犯人が申立てた犯行送の經過の中に、この機働の裏 では軍犯人へ申譯ありません では軍犯人へ申譯ありません では軍犯人へ申譯ありません。 では軍犯人の世の姿が見出されるであらう。 、母童の「しない」という。 一般になっている。 のですから、思ひ残すこさなく、安らか なったのですから、思ひ残すこさなく、安らかがせて誠に相濟まねこさか致しました。 これだ

一種で振り出しに監縁式を渡つ」上げたが、宏東では確まられ、いったのが昭和五年の夏の八月、朝 五年の晩春五月送は温順しく飲め喰いつめた瀧川が、渡滿を思ひ立 住み込んだが同年の秋十月、昭和 原丁一擬、瞬一木を資本に内地を | て宏東につき、某令衛所の被揚に 自己の名義を置って内悪後溜かれ に、昭和亭の家屋繁葉檻一切た買 ひ受けたが、會社鉱のの關係上、 ひでけたが、會社鉱のの關係上、

おめりか丸の二等ボーイをしてあるめりか丸の二等ボーイをしていました。 の主人公山本長五郎の内臓の事門上 にいる山本長五郎の内臓の事門上 り鳥の無安さに六月には撃天を一が、食びツ外れはあるまい、さ渡 またぎに大連まで南下

致子さ池内サクは女将に味がらた ち起つたこさだ、微彩された吉村 をからまた観いて同事が去つてか 関係は犯人が昭和事が去り、本田 であるという。本田 重子さは年齢の若い純懶さから主が、本田さみさ難な免れた松井入

おかれば、世の常の英速気並ではおかれば、世の常の英速気並では大路を続つただけに女将 をさつて去つた。 て、ふざけ散らしてゐやがるンだの蛸だのさ板場の私に注文した其晩でせう、いくら何ひ出した其晩でせう、いくら何の別に注文し 王人なき後の自己の 王人なき後の自己の

一 あるから曾てにはなるまい、女将 一 あるから曾てにはなるまい、女将 は 一 あるから曾てにはなるまい、女将

も覧らず、四十女の懐かの夢に耽っかんで、慰場際に酔い願人の前り込んで、慰場際に酔い願人の前

ドの上に機たへてあ カロフ

たやりその妙技をやりその妙技をからの妙技

さ山本派の二派が繋の眼、鷹の爪の殿殿をで不無味な殿脈を変けて で瀧心を可愛がつた、そして近く家を追ばれた山本は、同病相隣ん 亭の戸を叩いたの場合

生きた屍をマツ

た犯人は大連署に死の

ふ天津へ

き、八重ちやん さ、八重ちやん

に於いて舞踊公道な

浦川定吉を

常生木の等島昇氏が八日午前十一時入港のうちる丸で來連したが魁 中にて語る 寺島昇氏來連

洋酒

8

本各地名産

公二小。住生古 大連市大山通十一番地 中立人、株式會社正陸銀行 一小切手番號又Y八四七六一章枚 額面 金五百七組六十錢也 後、關東州地方發現金取扱所 昭和六年貳月貳拾

(品の染卵台の方土紳)

ウイスキー界

が(キングオフキング) (マンロー)

(ローレット三房印)

連市日本銀行大連代

界各

料品品

邦文タイプライター科 英語 科。 速 肥 科

(規則書要郵券二錢) 電話

では四三〇八

臨床訊問す

きのふ千葉司法主任

約六時間に亘つて

生徒募集

吞放題!

喰放題

水炊き

喰放題

分は北方

澤山入營者を出した

家庭を表彰

三萬八千圓の追加豫算を計上

正午過ぎ線搬流者、総つた 正午過ぎ線搬流者、総つた 突出付御一人樣一一個酒、ビール、御飯附

日部語

いろは本店

電話代表七七九六番

n

1:

3

もの

必ず勝

2

一圓七十錢

維紗小倉厚司

時年より工製グランドにおいて澳 時年より工製グランドにおいて澳 たが、二十四點三で的軍勝つ たが、二十四點三で的軍勝つ 自4 (3---3) 三和

ラグビー紅白戦

東語四四五七番 洋行 農林省 御指定品

フォ

(製造直卸) (カタログ進星)

(所行發錄智壽式株) 會協式株構本日 標本日話電 三五〇四・〇六四一

の頭痛にノ

大阪北區茶屋町(大阪岬東北) 山岡發動機工作所

ひますりかくうをりれやます

銀金文木 **읮服**

盛會だつた兒童舞踊會

可愛い春の踊り

である、市内十三般から運ばれた可能な数がたちは礎のやうに無ひか島のやうらいかな程崎れに繋まれてお母さん。お嫁さんたちの観楽は除上院下をギッシュ

生徒は左の通り決定八日登表され大連機製學校の昭和六年度新入學 人試合格者決る ーきのふ發表さる

入連商業學校

南の風

替語ニミハ〇

內親王殿下何越

代表して宮内大臣宛御殿解記上の

計、三鹽光改、高田詮吉 三、西村禎彦、桑幡一郎 三上勇、 三上勇、 一郎

撫中新入生內定 滯りなく 考査を終了

は少年な試験地獄に はない ない はいない はいない はいればれたが

新哈大洋の

相場强調

讀者慰安の

全国陸軍省では全國軍事上の功勢 電土町七番地総業信明氏は往訪の 電土町七番地総業信明氏は往訪の 大小・一覧ではる三士の一人……軽天 ではる三士の一人……軽天 ではる三士の一人……軽天

先發員於

授拶

「ありもしれえここな、わツしら 歴述はしれえ」

「着物を脱ぐ時に確に置いさいた態度に、盆々イラくと熱して のが無くなつさるんぢやでし

第二師團

陽

こっ 監者の財布はたしかにこの 風

管外匪賊官兵交戰

子間は湯瀬に濡れた温かい

逐寧省內

の鮮農

間にわたりに

續々奉天心引揚

支那官憲の壓迫で

下の靈を弔ふ

東道で各方面 上

9

帝國聯合艦隊

歡迎方法決まる

七日、市役所で協議

苛飲誅来を敢行

日本側に終了午後四時一同歸除 見學のため來る十四日を側にせ濺新なるものがあり式 鞍山中県校第四年生

煙墨匪賊の片割れ

城 弄られては騒るから、風呂から私

〇冬 畫 〈

る家に嫁せしめ限人の他をさか

出席者

なら、一つ調べて見給へ」なら、一つ調べて見給へ」

新宮さま御降誕の よろとびに湧く満洲各地

は一際に関節を擦げて融金を表しな事務所はサイレンを鳴らして地方事務所はサイレンを鳴らしていましたの処く蔵電ル数したであて左の処く蔵電ル数したの人の意を表し奉るといる代表し訳質があるを表しまるという。

集し六年度の堂長會議な開催したという年度の堂長會議な開催したという。

支展では直に各が配に通報、一が生の報を七日正午に受取った本社

西湖舟遊、城

別妥地が か君が自分で自分の財布を踏む答がれまったのあがるのを待つてるたまへり意見は、秘も肯ふし、實際ここでするの財布が察まれたさすればまさか君が自分で自分の財布を踏む答 もないんだから、さしあたりわれ

何十圓ものカメラと同じに

かつ一緒(附署品共)

(強四條)

放送 大連 JOAN **(以下內地中總六時五十分** 春後き座のとりまや落椿 こ 大連 北













食密增進素 (各国專實特許) 京日本橋 松新藥 部

店商吉太澤麗社會或為 二等等型電大 B-54

成式師の高菜にして渡州の鬼木監禁のしさに九、十の職日連職 大衆学に於て午後六時中、秦山的 大衆学に於て午後六時中、秦山的 大衆学に於て午後六時中、秦山的 大衆学に於て午後六時中、秦山的 傳染病猖獗 施政完備に

が、本年一月始めより三月七日 を対象の修築網帯を植めてる を対象の修築網帯を植めてる が、本年一月始めより三月七日 寛城子で賭匯取締

人達ひ ではないかさ思ったがが ではないから軍司令

六日迄に既に三百名

を部がいそれに三重解人十七名も を部がいそれに三重解人十七名も 年四月愈々響天を飛砕けるに際し 年四月愈々響天を飛砕けるに際し 北支旅行

日に割るので、恰、昭和六年高度店属公司上戦病者を行うとの方が兵第三十の厚め六日午後二時地方事務所會と、長職職隊長以、職室に地方委員會を探集者定したと、大戦に成て配案を可決。年後七日は午前九時四時間會した 原案可決 公費ご戸 數割

瓦房 店

生が 山 かつたさしたちりからく見識る答

日午後十時四「しかし」
日午後十時四「しかし」
日安、廿五日
こ、瘤太は光る眼でちつこ子酸
の酸定でその
の酸が吸いて
の、舞鶴公園
はあんたがたの外にはれえだで」
南京路、
南京路、
「ごにかくそれなら調べてみたま
で、百貫店、ヘ」
と ちま 村の郷海をかけたさしてみたまへて置いたまへと言ってるのはつまれが正常な筋を磨んで事質を調べて、採物厳密を受けるかれ?…… は警察は苦手です。 りその転でなのです」

はないんだが。

単春のつるに

チリ紙は福盛號 電話五六八五掛

起さず。連用して障害なく病の根本を治癒す。特徴…使用時、唱氣を催さずその他不快の感を 吸入すれば 即座に 痰を切り 苦痛を去る注射せば 直ぐ發作は消失し 平常に復す

でないって居たさきな歌を見せ はて、その歌歌を選す前にだれる はて、その歌歌を選す前にだれる 2

八島町の山崎釣具店は今回家事一院中七日糖窓に死去した

兜

? CHID なった

町のニュ

却てお恥し

奉

軍事功勞者として表彰される

稻葉信明氏は語る

ても、その意識ちやありませんかいが確かななくして願いであるのをみ

に君たちが遺入つてゐた。私たちに君たちが遺入つてゐた。私たち 私にでも出来るり 一盗まれたラていふ騒ぎだけなら

が脱名に違入って居るご君たちにかが脱名に違入って居るご君たちにから出て、既布を勢まれたご言って願いでゐる。君たち たちは財命を登まれたのか、そのけるとすれば、私たちは戦時に君

いい いっぱい かいり ないり アならん 「大べらぼうぢやない。冷騰に考って、そんな大べらぼうな!」 日張りや冬盛くる人の實や冬盛くる

(10) (19)(17)

へ梨山は印晶水

山梨縣大河內 山梨水晶株式會社

水晶實印一園(学を著刻) 御申込次第カタログを送ります 本でも卸値提供

界に聳ゆるも 9

元 贸 設 總 店 商 邱 太 久 堀 九一丁香十津高區南市阪大 三〇〇〇原次港縣・三八五一新総第

が御座はかりますかります。